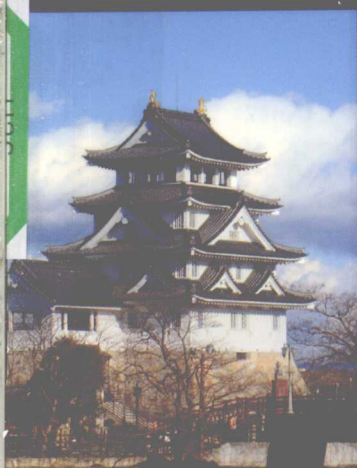


日语学习文库 涵盖历史文化风情
知识全面补给 激活思维融汇贯通

日语学习文档

ファイル

主编 汪玉林



外文出版社
FOREIGN LANGUAGES PRESS

日语学习文库 涵盖历史文化风情
知识全面补给 激活思维融汇贯通

日语学习文库

フ
ア
イ

主编 汪玉林



外文出版社
FOREIGN LANGUAGES PRESS

图书在版编目 (CIP) 数据

日语学习文档 / 汪玉林等编著.

北京: 外文出版社, 2009

ISBN 978-7-119-06081-1

I.日… II.汪… III.日语—自学参考资料 IV.H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2009) 第 185003 号

责任编辑: 郭雅坤 田 洁 马彦荣

封面设计: 郝建兴

内文设计: 郝建兴

印刷监制: 冯 浩

日语学习文档

主编 汪玉林

©2010 外文出版社

出版发行:

外文出版社 (中国北京百万庄大街 24 号)

邮政编码: 100037

网址: <http://www.flp.com.cn>

电话: 008610-68320579 (总编室)

008610-68995852 (发行部)

008610-68327750 (版权部)

制版: 北京维诺传媒文化有限公司

印刷: 北京外文印刷厂

开本: 1/16 印张: 14.25

2010 年第 1 版第 1 次印刷

(日)

ISBN 978-7-119-06081-1

03000 (平)

版权所有 侵权必究 有印装问题可随时调换

前 言

中日两国一衣带水，彼此交流源远流长。中日文你中有我，我中有你。中日文化你往我来，你来我往，相互学习，相互吸收，各呈其风，各具其格。

人类需要语言沟通。无语言之交流，则难无物质之交通。无语言之通达，则难心心之相印。

中日两国虽有相同汉字，但音有相远，意有不同，文法亦有主谓相左。当今之中国，学习日语者之众乃呈空前之势，我等编写了《日语学习文档》一书，愿能助中国日语学习者一力。语言之工具稳定而又发展，语言自有语言之规律。本书遵循日语规律，照应中国学习者特点，尽收日语中普遍事项，涵盖文学、文化、社会、历史等内容，以解学习日语之难。一本小书，难包万象，书中之不足，尚需在使用中发现，更祈读者指教。

本书出版，得外文出版社日文部各位大力支持，全体编委并代读者深表谢意。

编委会

2009年9月吉日

目次

一. 仮名と表記 2

1. 仮名字源表
2. 仮名とともに使われる記号
3. いろは歌
4. ローマ字入力、仮名変換一覧表

二. 音声とアクセント 4

1. 音声
2. 日本語音節表
3. アクセント型の種類

三. 文字と読み 5

1. 常用漢字、当用漢字、JIS規格
2. 部首の名称
3. 同音異義語
4. 間違いやすい熟字訓の読み方
5. 間違いやすい難読語の読み方
6. 呉音、漢音、唐音

四. 品詞 15

1. 単語の分類
2. 用言活用形の種類
3. 動詞活用表
4. 形容詞活用表
5. 形容動詞活用表
6. 助動詞活用表

7. 助詞
8. 助動詞
9. 接続詞

五. 敬語 19

1. 新敬語の5種類と旧敬語の3種類との対応
2. 新敬語の内容

六. 文 20

文の構成と分類

七. 文章表現 20

1. 文章中の区切り符号の名称
2. 文体の種類

八. 成語・諺・格言・慣用句 21

- (一) 体に関する慣用句
- (二) 動物に関する故事成語・諺・格言
- (三) 植物に関する故事成語・諺・格言
- (四) 酒に関する故事成語・諺・格言
- (五) 食・味に関する故事成語・諺・格言
- (六) 山に関する故事成語・諺・格言
- (七) 常用故事成語・諺
- (八) 中国の常用古典格言

九. 四字熟語 42

一. 時代別主要文学作品一覧 52

二. 日本文学の形式 62

三. 日本の主な文学賞 62

1. 純文学、その他の文学賞
2. エンターテインメントの賞
3. 純文学、その他の公募新人賞
4. エンターテインメントの公募新人賞

四. 近現代の主な文学思潮 69

五. 漢詩 71

一．茶道 84

1. 茶道の道具
2. 茶道の言葉
3. 茶道の代表流派

二．華道 86

生け花の代表流派

三．書道 87

日本の主な書道団体

四．歌舞伎 88

1. 歌舞伎小屋の各部分の名称
2. 歌舞伎役者の屋号
3. 歌舞伎の演目例

五．能 91

1. 能舞台の各部分の名称
2. 典型的能面
3. 能の演目

六．相撲 92

1. 大相撲の本場所
2. 大相撲の主な決り手
3. 歴代横綱一覧

七．柔道 95

1. 柔道の主な技
2. 柔道の段級位

八．家紋 96

1. 家紋についての常識
2. 家紋の典型例

九．和服 98**十．年中行事 98**

1. 日本の主な祭り
2. 日本の主な年中行事

十一．季節用語 107

十二. 節氣 108

季節と二十四節氣

十三. 宗教 109

1. 日本宗教の概況
2. 主な教派神道系教団
3. 初詣の人出ベスト10
4. 仏教の寺院数と信者数の上位 5 都府県
5. キリスト教の教会総数と信者数の上位 5 都道府県

十四. 料理 111

1. 日本の四大料理
2. 日本の大衆料理
3. 常用食材

十五. 日本人の珍しい姓 115

十六. 花の象徴 117

十七. 自分側と相手側の呼び方の違い 118

十八. ものの数え方 119

十九. 度量衡換算法 122

一. 日本地理 126

1. 面積
2. 山・川・湖
 - (1) 山の標高
 - (2) 主な地方富士
 - (3) 日本百名山
 - (4) 河川の長さ
 - (5) 湖の面積
 - (6) 各地の名温泉

二. 日本の名所 134

1. 日本三景
2. 日本三名園
3. 日本三奇橋

4. 日本三名城
5. 日本三名滝
6. 日本三社
7. 日本名寺
8. 桜の百名所
9. 紅葉名所

三. 日本の文化財 141

1. 日本の世界遺産
2. 古都京都の文化財
3. 古都奈良の文化財

四. 季節前線 145

五. 日本公共電話番号一覧 146

六. 国際機関一覧 147

七. 日本の行政 149

1. 廃藩置県前の地方区分
2. 旧国名（廃藩置県前）
3. 難読旧国名

八. 都道府県 150

1. 都道府県別の県庁所在地・人口・面積・人口密度及び年平均温度
2. 都道府県別の人口ランキングと面積ランキング

九. 日本の政治 154

1. 日本の統治機構
2. 立法
 - (1) 衆議院議員と参議院議員の概況
 - (2) 国会の種類
3. 司法
日本の司法機関
4. 行政
歴代首相一覧表
5. 地方六団体
6. 天皇
歴代天皇一覧表
7. 日本の政党
日本の政党一覧表

十．社会保険制度 172

社会保険の概況

十一．社会問題 173

1．主な社会問題の概況

2．四大公害訴訟裁判

十二．公衆メディア 174

1．放送局

主要放送局

2．新聞

(1) 新聞の種類

(2) 全国新聞販売部数ベスト30紙

十三．日本史年表 177

中国篇

185

一、中国の政治制度 186

二、中国の民族 188

三、中国の古典名著 188

四、中国道教の神々と仙人 190

五、漢方薬 192

1．常用薬草

2．常用中成薬

六、五行説 198

人体と自然界の五行

七、経絡経穴 199

付録 中日常用単語帳

201

1、気象

2、化粧品

3、コンピューター

4、スポーツ

5、飲み物

- 6、病氣
- 7、体
- 8、色
- 9、花
- 10、建築
- 11、軍事
- 12、法律
- 13、家具
- 14、家電
- 15、台所・トイレ用品
- 16、日用品
- 17、衣服
- 18、裁縫
- 19、靴
- 20、生地
- 21、仏教用語

言語篇

言語篇

一．仮名と表記

1．仮名字源表

平仮名					片仮名				
安⇒あ	以⇒い	宇⇒う	衣⇒え	於⇒お	阿⇒ア	伊⇒イ	宇⇒ウ	江⇒エ	於⇒オ
加⇒か	幾⇒き	久⇒く	計⇒け	己⇒こ	加⇒カ	幾⇒キ	久⇒ク	介⇒ケ	己⇒コ
左⇒さ	之⇒し	寸⇒す	世⇒せ	曾⇒そ	散⇒サ	之⇒シ	須⇒ス	世⇒セ	曾⇒ソ
太⇒た	知⇒ち	川⇒つ	天⇒て	止⇒と	多⇒タ	千⇒チ	川⇒ツ	天⇒テ	止⇒ト
奈⇒な	仁⇒に	奴⇒ぬ	祢⇒ね	乃⇒の	奈⇒ナ	二⇒ニ	奴⇒ヌ	禰⇒ネ	乃⇒ノ
波⇒は	比⇒ひ	不⇒ふ	𪛗⇒へ	保⇒ほ	八⇒ハ	比⇒ヒ	不⇒フ	𪛗⇒ヘ	保⇒ホ
末⇒ま	美⇒み	武⇒む	女⇒め	毛⇒も	万⇒マ	三⇒ミ	牟⇒ム	女⇒メ	毛⇒モ
也⇒や		由⇒ゆ		与⇒よ	也⇒ヤ		由⇒ユ		与⇒ヨ
良⇒ら	利⇒り	留⇒る	礼⇒れ	呂⇒ろ	良⇒ラ	利⇒リ	流⇒ル	礼⇒レ	呂⇒ロ
和⇒わ	為⇒ゐ		恵⇒ゑ	遠⇒を	輪⇒ワ	井⇒ヰ		恵⇒エ	乎⇒ヲ
无⇒ん									

2．仮名とともに使われる記号

昔から仮名とともに使われる記号がある。しかし、現代かなづかいが定められたあと(あるいはワープロ時代以降)、長音以外はほとんど使われなくなった。

記号	名称	意 味
ー	長音	前のカタカナ音を引きのばす。縦書きのときは「 」
ゝ	繰り返し符号	前のひらがなを繰り返す
ゞ		前のひらがなを濁って繰り返す
ゝ		前のカタカナを繰り返す

3．いろは歌（「ん」なし）

いろはにほへと ちりぬるを わかよたれそ つねならむ うゐのおくやま けふこえて あさきゆめみし ゑひもせす	色は匂へど 散りぬるを 我が世誰ぞ 常ならむ 有為の奥山 今日越えて 浅き夢見じ 酔ひもせず
---	---

4. ローマ字入力、仮名変換一覧表

あ	a	い	i	う	u	え	e	お	o
あ	la	い	li	う	lu	え	le	お	lo
か	ka	き	ki	く	ku	け	ke	こ	ko
が	ga	ぎ	gi	ぐ	gu	げ	ge	ご	go
きゃ	kya	きい	kyi	きゅ	kyu	きえ	kye	きよ	kyo
ぎゃ	gya	ぎい	gyi	ぎゅ	gyu	ぎえ	gye	ぎよ	gyo
くあ	qwa	くい	qwi	くう	qwu	くえ	qwe	くお	qwo
さ	sa	し	si	す	su	せ	se	そ	so
ざ	za	じ	zi	ず	zu	ぜ	ze	ぞ	zo
しゃ	sya	しい	syi	しゅ	syu	しえ	sye	しよ	syo
じゃ	jya	じい	jyi	じゅ	jyu	じえ	jye	じよ	jyo
た	ta	ち	ti	つ	tu	て	te	と	to
だ	da	ぢ	di	づ	du	で	de	ど	do
ちゃ	tya	ちい	tyi	ちゅ	tyu	ちえ	tye	ちよ	tyo
な	na	に	ni	ぬ	nu	ね	ne	の	no
にゃ	nya	にい	nyi	にゅ	nyu	にえ	nye	によ	nyo
は	ha	ひ	hi	ふ	fu	へ	he	ほ	ho
ば	ba	び	bi	ぶ	bu	べ	be	ぼ	bo
ぱ	pa	ぴ	pi	ぷ	pu	ぺ	pe	ぽ	po
ひゃ	hya	ひい	hyi	ひゅ	hyu	ひえ	hye	ひよ	hyo
びゃ	bya	びい	byi	びゅ	byu	びえ	bye	びよ	byo
ぴゃ	pya	ぴい	pyi	ぴゅ	pyu	ぴえ	pye	ぴよ	pyo
ま	ma	み	mi	む	mu	め	me	も	mo
みゃ	mya	みい	myi	みゅ	myu	みえ	mye	みよ	myo
や	ya			ゆ	yu			よ	yo
ゃ	lya			ゅ	lyu			ょ	lyo
ら	ra	り	ri	る	ru	れ	re	ろ	ro
りゃ	rya	りい	ryi	りゅ	ryu	りえ	rye	りよ	ryo
わ	wa							を	wo
ん	n(nn)								

※ 特殊な文字入力のポイント

「ゐ」はwiと入力し、変換（スペースキーを押す）
「ゑ」はweと入力し、変換（スペースキーを押す）
「ヴ」はvuと入力し、「う」に濁点は存在しない
小さい文字は頭に「i」を加えて発生させる。

二．音声とアクセント

1．音声

人間が音声器官を使って、言葉として発する音を音声といい、これらを対象に研究する言語学の一分野を特に音声学と呼ぶ。音声学では、主として音声器官の運動や、発せられる音響、およびその聴取を研究する。

2．日本語音節表（国際音声字母による）

ア行	a	i	u	e	o				
カ行	ka	ki	ku	ke	ko	キャ行	kja	kju	kjo
サ行	sa	ʃi	su	se	so	シャ行	ʃa	ʃu	ʃo
タ行	ta	tʃi	tsu	te	to	チャ行	tʃa	tʃu	tʃo
ナ行	na	ɲi	nu	ne	no	ニヤ行	ɲa	ɲu	ɲo
ハ行	ha	çi	Φu	he	ho	ヒヤ行	ça	çu	ço
マ行	ma	mi	mu	me	mo	ミヤ行	mja	mju	mjo
ヤ行	ja		ju		jo				
ラ行 ¹⁾	ra	ri	ru	re	ro	リヤ行	rja	rju	rjo
ワ行	wa		u						
ン			N ²⁾						
ガ行	ga	gi	gu	ge	go	ギヤ行	gja	gju	gjo
カ ^〇 行 ³⁾	ɠa	ɠi	ɠu	ɠe	ɠo	キ ^〇 ヤ行	ɠja	ɠju	ɠjo
ザ行	ɖa	ɖi	dzu	ɖe	ɖo	ジャ行	ɖa	ɖu	ɖo
ダ行	da	ɖi	dzu	de	do				
バ行	ba	bi	bu	be	bo	ビヤ行	bja	bju	bjo
パ行	pa	pi	pu	pe	po	ピヤ行	pja	pju	pjo

注：

- 1) ラ行は [r] で表すこともある。
- 2) いわゆる「終わりの“ん”」の音。例えば、[moN]（門）終わり以外の位置では次にくる音によってそれぞれ発音が異なる。
- 3) いわゆる「鼻濁音」を欠く話し手にとっては、この行および「キ^〇ヤ行」は存在しない。
*この他にツマル音（促音「ッ」）がある。

3．アクセント型の種類

大きく分けると平板式と起伏式の2種類がある。さらに起伏式の中には頭高（あたまだか）型、中高（なかだか）型、尾高（おだか）型の3種類がある。

次の表は、名詞における型の種類一覧の例である。各語に助詞の「が」をつけて示している。

名詞のアクセントの型

型		一拍語	二拍語	三拍語	四拍語
平板式		葉が／ ○－▲／	水が／ ○●－▲／	桜が／ ○●●－▲／	お花見が／ ○●●●－▲／
起	頭高型	木が／ ●－△／	春が／ ●○－△／	緑が／ ●○○－△／	三月が／ ●○○○－△／
伏	中高型			お菓子が／ ○●○－△／	湖が／○●●○－△／ 飲み物が／○●○○－△／
式	尾高型		山が／ ○●－△／	休みが／ ○●●－△／	妹が／ ○●●●－△／

●高 ▲中 ○低

三．文字と読み

1．常用漢字、当用漢字、JIS規格

漢字は約5万字あり、字形も様々ある。多過ぎて混乱しやすいので、日本政府は日常生活で使用する漢字の範囲についての指針を出している。コンピューターが登場してからは、JIS規格が定められ、日本語をカバーできる漢字の範囲を決めている。

1923年	大正12年	常用漢字	1960字＋略字154字。 文部省臨時国語調査会が指定。
1931年	昭和6年	同上改訂	1858字。
1942年	昭和17年	－	2669字。文部省が国民学校で 習得すべき標準漢字を指定。
1946年	昭和21年	当用漢字	1850字。国語審議会が決定答 申、政府が訓令で公布。
1948年	昭和23年	当用漢字 音訓表	音読みと訓読みの標準を示した。
		当用漢字 別表	881字。義務教育で読み書きとも できるよう指導すべき(教育漢字)。
1949年	昭和24年	当用漢字 字体表	字体の標準を示した。
1951年	昭和26年	人名用漢字 別表	92字。当用漢字に追加。
1978年	昭和53年	最初のJIS規格	約7000字。「世界の文字」参照。
1981年	昭和56年	常用漢字	1945字。内閣告示。

2. 部首の名称

一画	乙	おつによう		
二画	乚	なべぶた・けいさんか んむり	イ	にんべん
	儿	にんによう	八	はちがしら
	冂	まきがまえ けいがまえ	冖	わかんむり
	ㄣ	にすい	几	きによう
	凵	かんによう かながまえ	リ	りっとう
	力	ちから	勹	つつみがまえ
	匚	はこがまえ	匸	かくしがまえ
	凵	ふしづくり	凵	がんだれ
三画	ロ	くちへん	口	くにがまえ
	土	つちへん	夕	すいによう
	女	おんなへん	子	こへん
	宀	うかんむり	尸	しかばねかんむり
	山	やまへん	巾	はばへん・きんべん
	广	まだれ	彡	えんによう・いんによう
	艹	くさかんむり	弓	ゆみへん
	亼	けいがしら	彡	さんづくり
	彳	ぎょうにんべん	亼	りっしんべん
	扌	てへん	彳	さんずい
	扌	けものへん	卩	おおざと(右)・こざとへん(左)
	弋	しきがまえ	乚	しんにゆう
四画	心	こころ	戈	ほこづくり
	戸	とだれ・とかんむり	支	えだによう・しによう
	手	てへん	支	ぼくによう・ぼくづくり
	文	ぶんによう	斗	とます
	斤	おのづくり	方	かたへん
	无	むによう	日	ひへん
	日	ひらび	月	つきへん・にくづき
	木	きへん	欠	けんづくり
	止	とめへん	歹	かばねへん・かつへん
	爰	るまた・ほこづくり	气	きがまえ
	水	したみず	火	ひへん